

広報川邊

【第69号】

発行所

編集 発行人

大分県・日田・中津江村

川津一人



体操にはげむ川邊小六年生

夏の健康増進を

六月二十一日から七月二日 養

十日まで「夏の健康増進運動」が全国的におこなわれます。夏は体力がおとろえるところに、伝染病、食中毒などの起りやすい時期です。この夏を健康な体でむかえましょう。そのためには、健康なときに病気に気をつけ、病気にかからないようにすることが一番です。健康増進運動ではつぎのことを呼びかけています。

一、夏の健康づくりと病気の予防

夏の高温多湿から身体を守り、さらに身体を鍛錬するようにしましょう。夏にはやる赤痢、急性灰白髄炎、日本脳炎、消火不良などの予防と早期受診に注意しましょう。

二、夏の体力づくり

夏は暑さのため運動する機会がへります。体操などをできるだけやりましょう。子供は戸外で遊ぶようにしましょう。

三、夏のあいだの適度な休

規則正しい生活をするための早寝早起をすゝめます、またつかれがたまらないように適度な休養をとりましょう。

四、夏の衛生食品

給食施設、飲食店、食品販売店などの環境整備はもちろん、家庭でも食品の管理に特に注意しましょう。

五、夏のあいだの栄養

夏には食欲が減退し、栄養摂取量が低下しますのでこれを補うためのバランスのとれた食生活に気をつけましょう。

六、伝染病予防と生活環境の浄化

赤痢、急性灰白髄炎、日本脳炎などの予防のためにはまず予防接種、手洗い、ハエ、カ、ねずみなどの駆除が大切です。殺虫剤の共同散布などをしましょう。

七、飲用水の衛生に気をつけましょう。

学校、旅館、事業所などは勿論、家庭の飲用水の検査などをしましょう。

九月から即時通話

津江 鯉生 局の市外電話

九月一日から、津江、鯛生両局の市外電話が手動即時となりま

これは、局から先が自動になることで、局を呼び出したあと、「市外」を申し込み、日田の何番とか、福岡の何局の何番と言えば即時でつながる、ということ

津江局の場合は、これまで津江―日田間の市外回線は四回線でしたが、九月一日からは七回線になり、日田―津江間が八回線になります。交換台もこれまで二

ことになりました。津江局区内から鯛生局区内にかけるときも、「市外」を呼びだし、鯛生局の何番と言うこととなります。即時になりますと、料金はこれまでの市外の普通通話料よりもいくらか高くなります。

郵便番号簿は 六月中に配布

七月一日から郵便物に郵便番号を書いてもらうことは、五月号に書きました各地の郵便番号を書いた郵便番号簿を六月中に、局から各家庭に配ります。この郵便番号簿には、大阪、福岡、熊本、宮崎、大分、愛知、東京の番号だけがのっています。この他の地域に郵便を出すときは、別に書店で売っている全国郵便番号簿(七十円)を買い、局に問い合わせ、番号を書いて下さい。

津江局移転工事がはじまる

津江局が移転地に新局舎の工事をはじめました。七月中に建築、移転を終り、八月一日から新局舎で業務を行なう予定です。局舎の作りは、大山村中川原の大山局と同じでモダンな建物です。敷地面積三百五十八平方メートル、建物は局舎百八十七平方メートル、自転車置場など付属建物三十三平方メートルで工事費は五百万円となっています。

第六区長に 永瀬清和氏

第六区長に永瀬清和氏(三十二才、宮園部落しいどが任命されました。第六区には梅野、宮園、高迫、石場部落が含まれ、これまで永瀬勲氏が区長をつとめていました。

犬をつないで下さい

よその家に行つて、犬にほえられた時は困つたものです。悪くすると咬まれることがあります。これが一苦労しているのが郵便配達員の方です。先きごろ津江局の方がかまれています。かまれた方はもしや狂犬病にでもと、大へん心配しなくてはなりません。大分県では「犬取締条例」を四月から施行せまれました。これによると、危害を

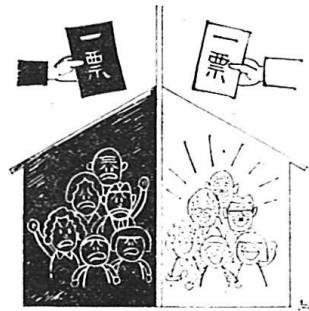
香典がえし

先きに奥さんのチカミさんを亡くした、山本部落の佐竹丹次さんが、香典返しとして、金一封を中津江村社会福祉協議会に寄付されました。本紙をかりてお礼を申し上げます。

七月 参院議員選挙

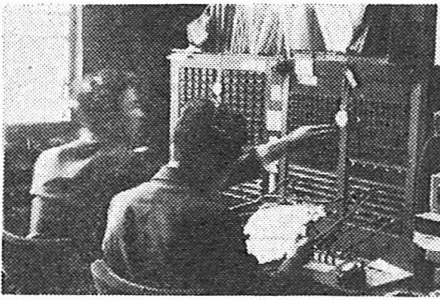
参議院議員選挙について 来る七月七日の日曜日に参議院議員の通常選挙が行われる予定です。参議院議員の定数は二百五十人でそのうち全国区から選出される議員が百人、地方区から選出される議員が百五十人です。議員の任期は六年で三年毎にその半分の選挙が行われることになっています。地方区の大分県の定数は二人で、三年

参議院議員の定数は二百五十人でそのうち全国区から選出される議員が百人、地方区から選出される議員が百五十人です。議員の任期は六年で三年毎にその半分の選挙が行われることになっています。地方区の大分県の定数は二人で、三年



あなたの一票で 明るくするも暗くするも

写真は津江局の交換台

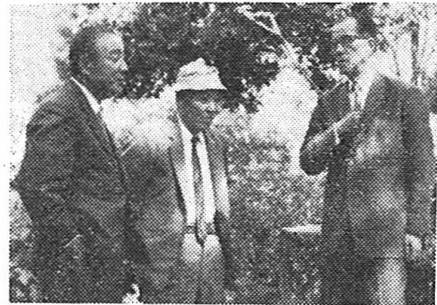


九州最古の庭園が

豪荘な石組の伝来寺



伝来寺の庭は、これまで梶原景季（源頼朝の家臣）の築いたものとして伝えられていましたが、このほど庭園の研究では日本最高の権威、森修先生（前国立奈良文化財研究所、建造物研究室長）を招いて見ていただいたところ。「庭の作り石組など豪荘をきわめ、中世の武家の気風をしるものがある、南北朝時代か、もしかしたらそれより古いかも知れない」という感想をもらされました。先生はくわしい鑑定のためには、庭の測量や、必要によつては発掘などをしてみ



写真左が森先生
用した庭とを組み合わせたものかも知れない。時代は

室町時代より古いもので、国の史跡指定も充分可能でしょう。ということも語られ、自分の研究としても取り上げ、今年の夏にふたたび来て、精密な測量をしたと言われています。

この庭がもし南北朝以前の作であるとなると、九州では最も古い庭園となり、文化的価値ははかりしれないものがあります。

国の史跡指定をうけると村の観光面でも大へん期待がもたれます。

商業調査を七月一日に実施

この調査は、七月一日現在で、商店、飲食店、建設業、運輸業、病院、旅館、理髪店、学校などを対象として次のことを調査いたします。

商店の開設年、売場面積、従業者数、年間商品仕入額の仕入先別割合、月間商品販売額（六月一日から三十日までの分）、年間商品販売額、商品手持額、営業経費などが主なものです。調査は、調査員が用紙をもって一軒／＼説明して廻

津江の歴史と伝説

（紹介）

標題の本を鯛生在住の矢野周蔵氏が執筆され、多数役場に置き、希望の方には一部百円でわけています。

内容は、中津江、上津江、前津江の三村の伝説が紹介され十一枚の写真

ものせられています。

中津江の伝説では、梶原景季が伝来寺の庭園を築いたこと、市の瀬の御所の滝菊地の七人塚、津江神社のこと。鯛生石のこと。二又の別府太郎、次郎の墓、田ノ口の腰折れあぶらめ、広瀬のおこよ淵のことが書かれていて、郷土の本として面白いものです。

りますので、各商店主が記入し、七月十五日までに調査員に出してもらうことになります。

調査の内容は、秘密にして、税関係の資料には絶対いたしません。めんどうではありませんが、協力をお願いいたします。

就業構造基本調査の実施

この調査は、石場、才野小平田、柿の谷、地藏元だけが対象となっています。

調査の目的は、いま仕事を持っている人は、仕事の内容や就業の仕方、また仕事をしたい人については、就業希望や求職活動を調べ国の労働政策に役立て

るためです。調査の対象は、十五才以上の人で、職業、就業日数、従業先の産業や企業規模などを調べます。また、転職希望や、就職希望など、仕事に対して、人々がどのような欲求や希望をもっているかも調べます。

この調査は役場から依頼された調査費が、各家庭に調査票を渡し、書き方の説明をしますので、各家庭で書いて、調査員に出すことになっていきます。調査は七月一日でおこなわれ、調査票は七月七日までに出していただくこととなります。どうぞ御協力をお願いします。

貸付の利子下げる

第20回農協総会開く

農協は五月八日、組合員 百八十六名が出席し、農事センターで、第二十回通常総会を開きました。

総会では、四十二年度事業報告、四十三年度事業計画、貸付金の最高限度並びに利率決定の件などの議案が審議され、提案のとおり承認されました。

四十二年度事業報告、四十三年度事業計画のあらましは次のとおりです。

一、出資金の増資、現在三百七十三万八千円の出資金を六百二十六万円増資し、一千万円とする。

一、営農指導を一そう充実し、より採算のとれる農業として行く。前年度、米、麦、果樹、畜産、特産であげた所得一億一千三百万円



宮園の果山にシヤクナゲか桜の木を寄付して下さい。

を四十三年度は一億六千五百万円にまで引き上げる。

一、信用事業では、貸付金のワクを前年度の九千九百万円から一億四千万円にまで広げ、利率も日歩三銭五厘から、三銭三厘に引き下げる。

一、共済事業では、四十三年度八千万円の新契約を結ぶ。

一、右のほか、販売、購売事業で四千二百九十六万円の取扱高の伸びを予定する

写真は農協の総会

なく、田植ご十日以上も過ぎて雑草発生ごに使用する場合は、一度中耕除草してから使用する必要があるります。

いずれにしても散布ムラがあると、薬害を起したり効かないところが多かりするので、ムラなく均一に散布しましょう。

から守ってやるようにしましょう。病気は予防が大切です。特に鶏は抵抗が弱いので、病気にかかったらおしまいです。常日頃から鶏の管理に気を配り、病気に打ち勝つだけの体力をつけるようにしましょう。

い産卵率を維持して来た鶏も、やや産み疲れてくるしさらに気象条件が次第に悪くなるので、努めて湿気の排除に心がけ、鶏を病気から守ってやるようにしましょう。

にわとり

茶生葉の扱い 一万二千キロ

お茶つみの盛りを迎え、製茶工場も作業にピッチを上げています。今年茶の芽立ちが思わしくないようすがそれでも、工場の生葉取扱量は、昨年と同じくらいの一万二千キロほどを見込んでいます。

農協が売り出すお茶は約三百キロていどを予定しています。価格は百グラム百二十円から二百円までのものが多く、高いのは、三百円から四百円のものも多少あります。

日田市田島町の日田畜産センターで開かれ、中津江からも四頭の仔牛が出されました。

出品された牛は全部で四十頭ほどでした。高値が九万三千円、安値が三万六千円で、平均六万六千円でした。中津江から出した仔牛は、七万三千円、五万九千円、五万三千円、四万五千円、の値がつけられました。

中津江から出品したのは、満六カ月が一頭、あとは、六ヶ月にならないもので、やはり六ヶ月は越した方が値がつくようです。

今度の仔牛市場は七月十四日に開かれます。

保健だより

上旬はいわゆるツユのあとさきで気温の変化の激しいときです。夏かせのはしりが出はじめます。肌につけるものには気をつけましょう。又そろそろウメが出はじめます、青ウメを見てもかじつてみたくありませんがこれは禁物です。

これからは食べ物もくさりやすくなります、食物の保存調理に注意しましょう

稲の安全多収

のためには

安全多収のためには、稲の健康な生育と穂数確保が大切です。穂数の確保を容易にするためには、適期(早目)に健苗を植付けると共に、並木植によって、坪当り植付株数を増やすことが必要です。

植付け後数日間は、水を深目として、苗の植傷みを

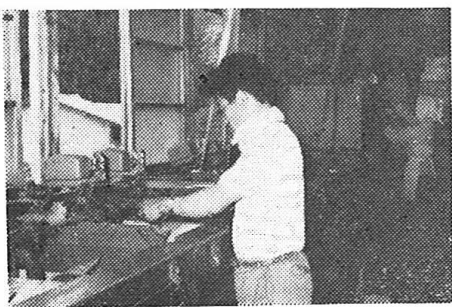
防ぎ、活着を早めるようにしましょう。その後はつめて水温の上昇をはかり、生育が促進するように水の掛け引きを行なうことが重要です。

除草剤の使用

除草剤の使用時期は四〜七日項の間で、水稲活着直後ヒエ種子の発芽しようとするところに、薬剤を作用させることが大切です。ヒエが発生してからでは効果が

にわとり

快適な気候に恵まれて高



仔牛市場に 四頭を出品

仔牛市場が五月十七日、